

1. 科目名（単位数）	基礎演習Ⅱ（1 単位）	3. 科目番号	GEBS2108
2. 授業担当教員	石川 美智子		
4. 授業形態	演習、発表、グループ討議	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	心理学は科学として在ることを示すことで生まれ、また経験と実践の学としても積みあげられてきている。学問としての心理学を学んでいくにあたり、心理学的なものの見方や考え方を養うことは欠かせない。これは、先人の研究成果を正確に読み取り、自身の意見を論理的に組み立てることであったり、臨床心理学的な観点から人間理解を深めることであったりする。 本講義においては、心理学の専門的内容を学び始める準備として、心理学の基本的なテーマを取りあげながら、基礎的な知識を身につけると同時に、学問としての心理学の視点・観点を身につけることをねらいとする。講義においては演習や議論、発表を通して、知識と同時に体験的な理解を深めていく。		
8. 学習目標	1 心理学的なものの見方や考え方を体験的に身につけていく。 2 心理学の基本的なテーマについて基礎知識を学ぶ。 3 自ら学び、まとめる過程を通して、心理学的視点を身につけ、応用する力を養う。		
9. アサインメント （宿題）及びレポート課題	学期中に、以下の2つのレポートを課します。 1. 講義前には必ず該当部分に目を通す。 2. 発表資料作りをし、授業で発表をする。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】石川美智子・松本みゆき『教育を科学する力、教師のための量的・質的研究方法：Excel フリー統計ソフト HAD を用いて』学術研究出版/ブックウェイ。 【参考書】・遠藤健治（2002）. 例題からわかる心理統計学. 培風館。		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	○成績評価の規準 1) 心理学的なものの見方や考え方を体験的に身につけることができたか。 2) 心理学の基本的なテーマについて基礎知識を学べたか。 3) 自ら学び、まとめる過程を通して、心理学的視点を身につけ、応用する力を養えたか。 ○評定の方法 学則で定められた単位取得の条件(3/4 以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度(授業への積極的参加や発言)50%、試験にかわる課題レポート 50%として算出した合計得点により成績評価を行う。		
12. 受講生への メッセージ	この授業はあらゆる物事の問題を特定して、適切に分析することによって最適解に辿り着くための思考方法を備えた上で、心理学の基礎的な表現や記述の仕方などを習得することに重点を置いています。「心理学実験」などの今後の授業に必要なレポート作成を中心とした知識・技術を身につけるための授業です。 授業態度に関する加点・減点の具体的内容は以下の通りです。 1. 授業中は、よく聞き、よく考え、そして復習をすること。 2. ディスカッションやグループワーク等において、自主的・主体的かつ協力的に学習を進めること。 3. 授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退、中抜けをしないこと。欠席等の場合は、事前に又は速やかにその理由を必ず教員に書面をもって報告すること。 4. 携帯電話・スマートフォン等の授業中の作動は厳禁とする。他の受講生の学習に迷惑をかける行為（私語、居眠り、グループ活動に協力しない等）を慎むこと。		
13. オフィスアワー	別途通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション	事前学習	テキストの目次に目を通してくる。
		事後学習	講義内で疑問に思ったことをまとめる。
第2回	心理学研究法の理解について	事前学習	テキスト第 1 章 pp.5~11 を読んで、心理学論文の構成 について考えをまとめておく。
		事後学習	学んだことをノートにまとめる。
第3回	研究デザイン	事前学習	テキスト第 2 章 p.12 を読んで、心理学の目的について考えをまとめておく。
		事後学習	学んだことをノートにまとめる。
第4回	研究倫理・研究の目標・問い リサーチエクシジョン	事前学習	テキスト研究倫理 pp.14~19 について身近な研究倫理違反について調べる。
		事後学習	リサーチエクシジョンの重要性をまとめる。
第5回	研究の厚みへ トライアングレーション	事前学習	心理学の論文をよんで、トライアングレーションの重要性をまとめておく。
		事後学習	テキスト【トライアングレーション】 p.20 について考えをまとめる。
第6回	量的研究法と質的研究法の選択	事前学習	心理学論文における方法の意味を調べておくこと。
		事後学習	テキスト【量的研究法と質的研究法の特徴】 pp.20~21 をまとめる。

第 7 回	文献研究	事前学習	心理学論文を読んで先行研究の意義をまとめる。
		事後学習	文献研究に意義を深めておくこと。
第 8 回	心理学論文の概要 3-1 問題と目的・方法	事前学習	心理学論文における結果の意味を調べておくこと。
		事後学習	心理学論文の結果の役割を理解し、特にグラフや図表の示し方、その内容をまとめておくこと。
第 9 回	心理学論文の概要 3-2 結果(統計結果の書き方を中心に)	事前学習	統計の記述の仕方について調べておくこと。
		事後学習	心理学論文の結果の役割を理解し、特に統計結果の記述の仕方、その内容をまとめておくこと。
第 10 回	心理学論文の概要 4 考察	事前学習	心理学論文における考察の意味を調べておくこと。
		事後学習	心理学論文の考察の役割を理解し、まとめておくこと。
第 11 回	記述統計と統計的検定と統計的推定	事前学習	テキスト【記述統計と統計的検定と統計的推定】p. 34 をまとめておく。
		事後学習	配布した資料の復習を行うこと。
第 12 回	統計的検定の考え方	事前学習	テキスト【統計的検定の考え方】pp. 36~pp. 37 について調べておくこと。
		事後学習	配布した資料、グループワークについてまとめておくこと。
第 13 回	被験者間計画 実験と調査	事前学習	テキスト【第 2 部第 2 章 前・後テストまたは 2 組のテストの比較】p47~53…被験者間計画について調べておくこと。
		事後学習	配布した資料、グループワークについてまとめておくこと。
第 14 回	レポートの書き方	事前学習	先行研究よりレポートの構成を調べておくこと。
		事後学習	得られたデータについてまとめておくこと
第 15 回	この授業で学んだことのまとめ	事前学習	これまでの授業内容をおさらいしておくこと。
		事後学習	学んだことをまとめ、提出すること。